

歩いて学ぶ哲学の道

1

5000

交番 警察署

史跡

駐車場

トイレ

展望のよい場所

石碑 記念碑

神社

お寺

ホテル 旅館

東山 京の都を引き立てる屏風のような東山。遠望すると、人がふとんをかむって寝る姿にたとえられる。この山が形成されたのは900万年前頃。2億年前に海中で形成された層を地下にあった花崗岩がもちあげ硬質な岩石層が残ったとされている。なだらかな山容だが谷は深く寒暖の差から紅葉の名所として知られ、古くは仙境の地であった。

白沙村荘 橋本関雪は“玄猿”などで知られる日本画家。琵琶湖疎水を誘水して庭園をつくり自宅兼アトリエとしてその造営に力を尽くした。現在は公開され、画家が想い描いた境地をうかがい知る事ができる。

浄土院 毎年8月、京都五山送り火。東山如意ヶ岳の大文字で知られる。山上には弘法大師堂があり大文字寺とも呼ぶ。

琵琶湖疎水記念館 琵琶湖疎水は、大阪湾と琵琶湖間の通船と京都市への給水のため開発された。大津で取水され南禅寺水路園を通り、松ヶ崎の浄水場にいる。1890年に完成した琵琶湖疎水は翌年には発電所が建設され京都市電の動力源にもなった。明治期の産業遺産として当時の発電機や水車が展示されている。

インクライン 琵琶湖の水運を利用した後、京都への物資輸送の最後の難所は蹴上から南禅寺までのインクラインでむすばれた。高低差36mの傾斜に舟を台車にのせ582mの行程をモーターでひきあげた。日本が産業国家へのスタートをきった明治初期の遺構。先人たちの技術への挑戦の跡だ。

銀閣寺（東山慈照寺） 文明14年(1482)、室町幕府の八代將軍足利義政が山荘として造営し、茶道など様々な芸術に親しんだ。庭園は特別名勝、観音堂（銀閣）、東求堂は国宝に指定されている。

法然院 延宝8年(1680)智恩院門主・万無上人により、法然上人が修行をした旧跡に建立された寺院。恵心僧都作の阿彌陀如来像を安置。境内には谷崎潤一郎の墓もある。

安楽寺 浄土宗の開祖法然上人のお弟子住蓮上人と安楽上人によって開創された。後鳥羽上皇の女官、松虫姫鈴虫姫の出家の経緯をつづった安楽寺松虫姫鈴虫姫和讃を伝える。

南禅寺 1264年亀山天皇が離宮禅林寺殿を造営。その後五山文学の中心地となる。22mの壮大な楼門は大阪夏の陣の戦死者を弔うために藤堂高虎により寄進された。南禅院、金地院など寺域に点在する塔頭には禅式枯山水の名庭園が多く残る大寺。

東福寺五山：南禅寺を別格の第一山とし、天龍寺/相国寺/建仁寺/東福寺/万寿寺。五山文化は禅宗を背景として漢語、漢文、書、絵画、建築、庭園などに表現された鎌倉から室町期の文化。

水路閣 南禅寺境内に残るローマ建築風の水路。橋の上が水路となり禅宗寺院の中で異彩を放つ建築だが、苔むした今では周囲にとけこみ名所となっている。

南禅寺北門。ここまでが南禅寺境内。南から北への写真

露蓮寺 椿の名所として知られる。境内には300年の樹齢ともいわれる天然記念物の椿がある。露斜面の起伏をいかした庭園は石組みの表情も豊かだ。尼寺の門跡寺院として皇室との関係も深く200点にも及ぶ御所人形や、双六盤、絵カルタなどが残る。

京都盆地の誕生

永観堂 現在は浄土宗だが創建は平安初期に弘法大師の弟子真紹僧都による。そとを振り返る“みかえり阿弥陀”、極めて珍しい本尊だ。平安時代の創建。長谷川等伯の波濤図や竹虎図などがある。急斜面の樹林を仰いで映る宝塔の姿は東山ならではの風情だ。

熊野若王子神社 平安時代初期の創建。聖慮院の熊野神社、いま熊野神社とともに三大熊野として信仰をあつめてきた。建